

令和3年神奈川県  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題


子どもの保健

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) … 

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、体調の良くない子どもへの対応に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 発熱しているときは、体温が高くても、寒がるときは温め、悪寒がおさまるときは涼しい環境を整える。
- 2 咳き込みが強いときは、仰向けにして寝かせる。
- 3 けいれん発作のときは、口にタオルなどを入れ、舌を噛まないようにする。
- 4 嘔吐しているときは、コップ一杯の水をすぐに飲ませる。
- 5 下痢のときは、口当たりが良く食べやすいアイスクリームやカステラを与える。

問2 次の文は、保育所における子どもの健康支援に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 子どもの心身の状態に応じて保育するために、子どもの健康状態、並びに、発育及び発達状態について定期的、継続的に把握する。
- 2 嘱託医と嘱託歯科医による定期健康診断に加え、保育士等による日々の健康観察では、子どもの心身の状態をきめ細やかに確認し、平常時とは異なった状態を見つけ出すことが重要である。
- 3 一人一人の子どもの生育歴に関する情報を把握するにあたり、母子健康手帳の記載内容は重要な情報となるので、可能な範囲で保護者から提供してもらう。
- 4 発育、発達の状態の把握は、健康状態の見極めだけでなく、家庭や保育所での生活の振り返りにも有効である。
- 5 心身の機能の発達は、脳神経系の成熟度合いや疾病、異常、出生時の健康状態や発育及び発達状態から保育士が予測し、判断をする。

問3 次の文は、中耳炎に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 急性中耳炎では、発熱以外に不機嫌、耳を頻繁に触る、頭を振るなどがみられることがある。
- B 急性中耳炎は、肺炎球菌ワクチンや季節性インフルエンザワクチンの接種により予防できる可能性がある。
- C 滲出性中耳炎は、発熱や痛みを伴わないことが多いため、気づかれにくい。
- D 乳児が中耳炎になりやすいのは、成人と比べて耳管が細いためである。
- E 中耳炎を放置することで、難聴になることはない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	×
2	○	○	○	×	×
3	○	×	×	○	○
4	×	○	×	×	○
5	×	×	○	×	×

問4 次の文は、乳幼児突然死症候群（SIDS）の発症予防に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 仰向けで寝かせる。
- B 喫煙環境を避ける。
- C 母乳で育てる。
- D 室温を高めにする。
- E 定期的に観察をする。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	○
2	○	○	○	×	×
3	○	○	×	○	×
4	×	×	○	×	○
5	×	×	×	○	×

問5 次の文は、子どものチックに関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 約10～20%に何らかのチックがみられる。
- 2 ほとんどの場合、発症年齢は18歳未満である。
- 3 男児よりも、女児に多くみられる。
- 4 複雑音声チックでは、「バカ」「死ね」などの汚い言葉を発する。
- 5 ある程度は抑制できても、抵抗できない不随意運動である。

問6 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

N君（5歳、男児）は、食物アレルギー（ピーナッツ、そば）があり、去年、アナフィラキシーショックのため、救急搬送された既往がある。内服薬とエピペン<sup>®</sup>が処方されており、保護者から預かっている。おやつ後の自由遊びの時間、保育室でモゾモゾしているN君に保育士が声をかけると、目と口の周りが赤く、腕の内側や太ももにじんま疹が出現し、軽い咳をしていた。N君のおやつは本人用の除去食クラッカーだったが、普通食のおやつはナッツ入りクッキーだったこと、N君の既往歴、現在の症状、N君及び他児からの情報から、食物アレルギーによるアナフィラキシーと判断した。

【設問】

N君への保育士の対応として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A すぐに他の職員を呼び、N君の生活管理指導表を確認し、処方薬を内服させ、エピペン<sup>®</sup>の準備をした。
- B 内服5分後、N君は犬が吠えるような咳をしていたが、会話はできているので、内服薬の効果を待ち観察を続けた。
- C 内服後、観察をしている間に、N君が「おしっこに行きたい」と言ったので乳児用おまるをすすめたが、嫌がったためトイレまで一緒に歩いて行った。
- D トイレから戻った後、N君がぐったりとした様子だったので、すぐにエピペン<sup>®</sup>を打ち、他の職員に119番通報を依頼した。
- E 救急車の到着を待つ間、N君の頭を高くして寝かせた。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	×
2	○	○	×	○	○
3	○	×	×	○	×
4	×	○	×	×	×
5	×	×	×	○	×

問7 次の【Ⅰ群】の誤飲・誤食したものと【Ⅱ群】の応急処置を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 加熱式タバコ（約1本）
- B 除光液
- C ナフタリン（防虫剤）
- D 強アルカリ漂白剤

【Ⅱ群】

- ア 牛乳や水を飲ませ、吐かせない。
- イ 何も飲ませず、すぐに吐かせる。
- ウ 水を飲ませて吐かせる。牛乳を飲ませてはいけない。
- エ 何も飲ませず、吐かせない。
- オ 牛乳や水を飲ませ、すぐに吐かせる。

（組み合わせ）

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | ウ | エ | オ |
| 2 | イ | エ | ウ | ア |
| 3 | イ | オ | ア | エ |
| 4 | ウ | エ | イ | ア |
| 5 | エ | ア | ウ | オ |

問8 次の文は、保育所職員の衛生管理に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 職員が、麻疹、風疹、水痘にかかったことがない、予防接種歴が2回ない、などの場合は、予防接種を受けることが感染予防につながる。
- B 職員が清潔な服装の着用や頭髪、手指、爪を清潔に保つこと、また、衛生管理の知識の向上に努めることが重要である。
- C 下痢や嘔吐の症状がある職員は、手洗いを徹底して食事の介助につく。
- D 便の処理を行うときは、使い捨ての手袋を着用する。
- E 日ごろの体調管理を心がけ、子どもの見本となるよう咳エチケットを徹底する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	×	○
3	○	○	×	○	○
4	×	○	×	○	○
5	×	×	×	×	×

問9 次の文は、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」（昭和23年厚生省令第63号）についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育所の3歳未満児クラスの保育士の数は、乳児おおむね3人につき1人以上、満1歳以上満3歳に満たない幼児おおむね5人につき1人以上とする。
- B 健康診断は、入所時と少なくとも1年に1回の定期健康診断、及び臨時の健康診断を「学校保健安全法」に規定する健康診断に準じて行わなければならない。
- C 避難及び消火に対する訓練は、少なくとも2か月に1回は実施しなければならない。
- D 保育所における保育時間は、1日につき8時間を原則とする。
- E 給食の献立は、できる限り、変化に富み、健全な発育に必要な栄養量を含有するものでなければならない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	○
2	○	○	×	○	×
3	×	○	○	×	×
4	×	×	×	○	○
5	×	×	×	×	○

問10 次の文は、一次救命処置に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 呼吸の確認は10秒以内に行うが、10秒近く観察しても呼吸の状態がわからず判断できない場合は、ただちに胸骨圧迫を開始する。
- 2 人工呼吸をする技術又は意思のない救助者は、胸骨圧迫のみを行う。
- 3 人工呼吸の換気量の目安は、傷病者の胸部の上がりを確認できる程度とし、1回の呼吸吹き込みは約1秒かけて行う。
- 4 人工呼吸を2回行うための胸骨圧迫の中断は、10秒以内とする。
- 5 小児の胸骨圧迫の深さは、胸部が5cm沈むように圧迫するが、6cmを超えない。



問 11 次の文は、気道異物に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 口に物が入っているときに、急に喉を指さすような仕草をしていたら、世界共通の窒息のサインとして受け止める。
- 2 乳児の場合、頭を下に向けて背部叩打法と腹部突き上げ法をゆっくり反復実施する。
- 3 胸部突き上げ法は、心肺蘇生法の胸骨圧迫とは異なる方法である。
- 4 幼児の場合、まず本人に強い咳をさせ、異物が取れない場合は背部叩打法と腹部突き上げ法を実施する。
- 5 口腔内に異物が見えない場合でも、指による掻き出しを試みる。

問 12 次の文は、第二種感染症の出席停止期間に関する記述である。( A )～( D )にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

インフルエンザ(特定鳥インフルエンザを除く)の場合は「発症した後 ( A ) を経過し、かつ、解熱後 ( B ) (幼児においては、( C )) を経過するまで」が出席停止の目安とされている。また、咽頭結膜熱は「主要症状が消失した後 ( D ) を経過するまで」が出席停止期間となっている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	4日	2日	3日	2日
2	4日	2日	3日	3日
3	5日	2日	3日	2日
4	5日	3日	4日	2日
5	5日	3日	4日	3日

問 13 次の文は、ワクチンに関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 四種混合ワクチンには、不活化ポリオワクチンが含まれている。
- B BCGは、生ワクチンである。
- C ロタウイルスワクチンは、任意接種として実施されている。
- D 流行性耳下腺炎ワクチンは、定期接種として実施されている。
- E インフルエンザ菌b型（ヒブ）ワクチンの初回から3回目までの各接種間隔は、6日以上あければよい。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	×
2	○	○	×	×	×
3	○	×	×	○	×
4	×	○	○	○	○
5	×	×	×	×	○

問 14 次の文は、「保育所保育指針」第4章「子育て支援」の1「保育所における子育て支援に関する基本的事項」(1)「保育所の特性を生かした子育て支援」の一部である。

( A ) ～ ( E ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 保護者に対する子育て支援を行う際には、各地域や家庭の実態等を踏まえるとともに、保護者の気持ちを受け止め、相互の ( A ) 関係を基本に、保護者の ( B ) を尊重すること。
- ・ 保育及び子育てに関する知識や ( C ) など、保育士等の専門性や、子どもが常に存在する環境など、保育所の特性を生かし、保護者が子どもの ( D ) に気付き子育ての ( E ) を感じられるように努めること。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	信頼	活動	情報	成長	大切さ
2	信頼	自己決定	技術	成長	喜び
3	信頼	活動	技術	信念	大切さ
4	愛情	自己決定	情報	信念	喜び
5	愛情	活動	情報	成長	大切さ

問 15 次の文は、体温、脈拍、呼吸の測定に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 腋窩<sup>えきか</sup>で体温を測定する場合、体温計は上半身に対して上から 45 度で入れ、脇の下が一番くぼんだところに感温部があたるようにする。
- B 体温の測定は腋窩、直腸などで行うが、測定部位によって体温が異なる。
- C 橈骨動脈<sup>とうこつ</sup>で脈拍を測定する場合、手首の小指側のほうにある橈骨動脈に、人差し指、中指、薬指の 3 本の指をあて、脈が触れることを確認してから拍動を数える。
- D 呼吸を測定する場合、計測していることを本人に気づかれないように呼吸数を数える。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	○	×
3	×	○	×	○
4	×	×	○	○
5	×	×	×	×

問 16 次の文は、「保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）」における正しい手洗いの方法の一部である。（ A ）～（ D ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 液体石けんを泡立て、手のひらをよくこすります。
- ・ （ A ）を伸ばすようにこすります。
- ・ 指先と（ B ）を念入りにこすります。
- ・ 両指を組み、指の間を洗います。
- ・ （ C ）を反対の手でにぎり、ねじり洗いをします。
- ・ （ D ）を洗い、よくすすぎ、その後よく乾燥させます。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	手のしわ	つめの間	親指	手首
2	手のしわ	指の関節	人差し指	前腕
3	手のしわ	つめの間	人差し指	前腕
4	手の甲	つめの間	親指	手首
5	手の甲	指の関節	人差し指	前腕

問 17 次の文は、「保育所保育指針」第 2 章「保育の内容」の 2 「1 歳以上 3 歳未満児の保育に関わるねらい及び内容」ア「健康」の一部である。( A ) ～ ( D ) の語句が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ (A 安心)、安全な生活に必要な習慣に気付き、自分でしてみようとする気持ちが育つ。
- ・ 保育士等の愛情豊かな受容の下で、(B 行動力) をもって生活をする。
- ・ 様々な食品や調理形態に慣れ、(C 明るい) 雰囲気の中で食事や間食を楽しむ。
- ・ 身の回りを清潔に保つ心地よさを感じ、その (D 規則) が少しずつ身に付く。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	○
3	○	○	×	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	×

問 18 次のうち、睡眠に関する記述として正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 入眠を誘うホルモンとしてセロトニンがある。
- B 成長ホルモンは、寝入ってすぐの深いノンレム睡眠時に多く分泌される。
- C 主に記憶の整理や定着が行われるのは、レム睡眠時ではなく、ノンレム睡眠時である。
- D 夜間の睡眠では、ノンレム睡眠とレム睡眠が交互にみられる。
- E ノンレム睡眠時は眼球が動き、脳波が覚醒時に似ている。

(組み合わせ)

1	A	C
2	A	E
3	B	C
4	B	D
5	D	E

問 19 次の【Ⅰ群】の感染症と【Ⅱ群】の記述を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 麻疹
- B 水痘
- C 風疹
- D 百日咳
- E 流行性耳下腺炎

【Ⅱ群】

- ア 発熱やリンパ節腫脹しゅちやうを伴うことが多く、妊娠初期に母体が感染すると胎児に感染して、低出生体重児、先天性心疾患、聴力障害などを引き起こすことがある。
- イ 髄膜炎や精巣炎、卵巣炎等の合併症を起こすことがある。
- ウ 主な症状として、高熱、咳、口腔粘膜の白い斑などがみられ、顔や頸部けいぶに発疹が出現する。
- エ 特有な咳が続き、生後3か月未満の乳児の場合、無呼吸発作を起こすことがある。
- オ 発疹が全身に広がり、赤い丘疹から痂皮までが混在する。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | エ | オ |
| 2 | イ | エ | ウ | オ | ア |
| 3 | ウ | オ | ア | エ | イ |
| 4 | エ | オ | イ | ア | ウ |
| 5 | オ | ウ | エ | イ | ア |

問 20 次の文は、児童虐待の対応に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 児童虐待の通告は、「児童虐待の防止等に関する法律」で義務とされており、また、「児童福祉法」で、児童福祉施設職員等は市町村への要支援児童等の情報提供に努めることとされている。
- B 虐待が疑われる場合、児童相談所虐待対応ダイヤルに電話すると、管轄の児童相談所に電話が転送される。
- C 児童相談所虐待対応ダイヤルに電話する際は、必ず自分の氏名を伝えなければならない。
- D 虐待が疑われる保護者への対応は、特定の保育士個人ではなく、最初に園長や主任等と相談し、保育所全体でチームとして行うことが重要である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	×	○	○	×
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○